



NPO法人 **横浜金沢文化協会**

講演：地元の歴史と防災

713年前、長浜が一夜にして消えた？！

—震災100年の今、金沢を見つめなおす—

日時：2024年2月3日(土)開場 13:00 開演 13:30～16:00

場所：金沢公会堂ホール(無料)

13年前：東日本大震災の振り返りと横浜・金沢への教訓 (30分)

岡 和彦(金沢区在住。元JAMSTEC、元鹿島建設、歴遊会かねさは会員)

100年前：書き残された「洲崎」の被害状況 (20分)

山本宏文(金沢区在住。洲崎の歴史を調べる会、歴遊会かねさは代表)

713年前：葛飾北斎から読み解いた

長浜千軒とその再来 (70分)

平山次清(金沢区在住。横浜国立大学名誉教授、
横浜金沢文化協会副理事長、歴遊会かねさは発起人)

ジオラマ展示

金沢の歴史・文化を楽しもう！

2024年2月1日(木)～3日(土) 3日間

場所：金沢公会堂会議室 参加費：無料

10:00～17:00 (1日は12:00から、3日は15:00まで)

内容：空から見た金沢区の変遷を、プロジェクションマッピング(プロトタイプ)で紹介するほか、金沢文化協会紹介パネル展示、子供さん体験コーナーなどを予定します。

後援：横浜市金沢区役所、横浜金沢観光協会(予定)、NPO法人横浜金沢シティガイド協会(予定)
(株)はまかぜ新聞社(予定)、(株)タウンニュース社(予定) 横浜金沢文化協会HP➡

問い合わせ先：NPO法人横浜金沢文化協会事務局 Email:yokokana.bunka@gmail.com



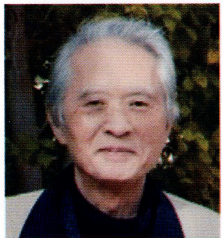
講演者プロフィール



岡 和彦：金沢区在住。元 JAMSTEC、元鹿島建設、歴遊会かねさは会員
三重県津市出身、育ちは東京都大田区。土建屋時代は東京、海外（東南アジア）、千葉で社会資本整備事業に従事。そして「3.11」に遭遇。発災直後より約五年、岩手、福島で復旧復興事業に従事後、帰浜。JAMSTEC 入構、東北大学で津波工学を切り口に災害科学、防災に勤しみ、現在に至る。また金沢区内を中心に公立中学校の防災教育・授業を支援中。



山本宏文：金沢区在住。洲崎の歴史を調べる会、歴遊会かねさは代表
昭和32（1957）年金沢区洲崎町に生まれる。小学校の時拾った縄文土器がきっかけで駒澤大学で考古学を専攻。横浜市立小学校、中学校、高等学校教諭。退職後洲崎の歴史を調べる会編「洲崎の歴史」を2022年に上梓。「古代製鉄とかねさは」をテーマに調査研究を進めている。祖先是7代前（江戸時代）より洲崎に暮らしている。



平山次清：金沢区在住。横浜国立大学名誉教授・文化協会副理事長・歴遊会かねさは発起人
磯子出身。小・中・高時代は山梨県甲府市・滋賀県大津市。専門は船舶海洋航空工学。船舶の乗り心地・安全性の研究のために、海洋波の研究にも従事。退職後は技術史研究にも力を入れ、「一夜で消えた横浜の村」を自費出版（2022年）。その関係で長浜千軒研究懇話会を山本宏文氏と立ち上げた（2013年10月「かねさわ歴遊会」に改称）。

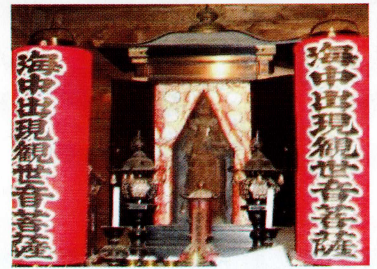
講演関連写真



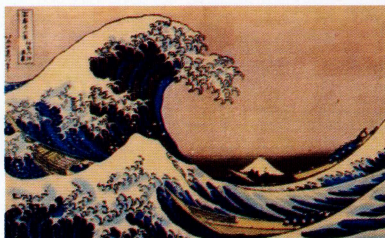
13年前：東日本大震災釜石被害状



100年前：関東大震災洲崎被害状況



713年前：流された観音（伝承）



富嶽三十六景 神奈川沖浪裏（葛飾北斎）



実験室で起こした波



長浜千軒再来！2019年9月台風15号による被害（長浜地先埋め立て海岸）